

特色ある学校づくりのための公募型人事異動 公募校の取組紹介



公募型人事異動を活用し、特色ある学校づくりに取り組んで2年目の水戸市立双葉台中学校が、取組の成果と今後の課題について以下のとおりまとめていただきましたので、紹介します。

なお、今年度は県内10校が公募校となり、教員の出願を受け付けています。管内では、水戸市立第二中学校【郷土教育の推進】と、茨城大学教育学部附属小・中・特別支援学校【いずれも教育実践研究の推進】の4校となります。

詳細は、教育情報ネットワークにて11月1日(水)から11月30日(木)まで動画配信していますのでご覧ください。出願期間は11月20日(月)から30日(木)までとなります。



水戸市立双葉台中学校



①本校の特徴

本校は、双葉台団地の開発にともない開校した創立46年目の学校です。住宅地と自然豊かな里山からなり、市内最大の学区面積をもちます。

本校の校訓「清く さとく たくましく」は、当たり前なのが当たり前でできる生徒、真剣に学習に取り組む学び合える生徒、挑戦・努力し感謝できる生徒の育成を目標としています。その中でも特に、学校生活の基盤となる「ミソアジサ・カチ」を合い言葉に教育活動を展開しています。「ミソアジサ・カチ」とは、「ミ」は身なり、「ソ」は掃除、「ア」はあいさつ、「ジ」は時間、「サ」は最後まで話を聞く、「カ」は感謝、「チ」は挑戦という一人一人の生徒に身に付けさせたい基本的な生活習慣を表す造語です。

「ミソアジサ・カチ」の定着に向けては、教育活動全般を通して実践していますが、生徒会活動や委員会活動といった特別活動にも積極的に取り組んでいるため、特別活動においてリーダーシップを発揮できる教員を求めて公募に至りました。

②公募により配置された教員が担っている役割

加配の教員は、生徒会活動や委員会活動を担当し、本校の特色である「ミソアジサ・カチ」の定着に向けて、以下の取組を実践しています。

◎「ミ・ソ・ア・ジ・サ」委員会の設置・運営

令和4年2月、従来ある8つの委員会の活動内容や名称を見直し、5つの委員会に振り分けました。名称も「ミ」委員会「ソ」委員会「ア」委員会「ジ」委員会「サ」委員会とし、各委員会に振り分けられない活動は、学級の係や部活動に移行しました。委員会への加入は希望制とし、定員制を改め、人数制限を撤廃したことで、より生徒の主体的な活動が保障されました。

◎「ミソアジサ」交流会の実施

令和4年度に生徒会本部が、本校と同様に「ミソアジサの教育」に取り組んでいる他の中学校の取組を知り、本校の活動に取り入れたいというアイデアが出ました。そこで、令和4年度の後期(10月)から、大阪府東大阪市池島学園と山口県山口市立湯田中学校、静岡県沼津市立門池中学校とオンラインで交流しています。



「ア」委員会によるあいさつ運動



池島学園とのオンライン交流会

③成果と課題

生徒の振り返りには、「ミ・ソ・ア・ジ・サ」委員会活動に対して、「自分たちが話し合っただけで決めたことを実行できて、目に見える形で学校をよりよくできる」「みんながよりよい学校生活を送るために自分が頑張ることができ、達成感がある」といった意見がありました。また、「ミソアジサ交流会」についても、「他の学校と交流するのはお互いのためになるので続けていきたい」と継続や発展を願っていました。

以上の活動は、生徒が自主的、実践的に取り組むための取組としては大変有効であり、生徒の活動を見守り、サポートする担当教員の重要性も高まっています。

今後の課題としては、委員会に所属していない生徒への手立て、または、委員会加入者以外にボランティアとして活動を希望する生徒への支援が必要であると感じています。